

平成 26 年度 NPO 法人もったいない学会通常総会

日 時 2014 年 6 月 6 日 13 時 30 分から 14 時 30 分

場 所 東京大学工学部 2 号館 211 室

【総会資料】

■ 次第

1. 開会

2. 総会成立要件の確認

定款第 26 条により、総会は、正会員総数の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会することはできない、とあります。

3. 会長挨拶

4. 議長の選出

定款第 25 条により、総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する、とあります。

5. 議事録署名人選任

定款第 29 条（総会の議事録）により、議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人 2 人が、記名押印又は署名しなければならない、とあります。議事録署名人について、議長より本日出席の正会員の 2 名を指名し、お諮りします。

6. 議題審議

定款第 27 条により、総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる、とあります。

(1) 第 1 号議案 平成 25 年度事業報告及び決算報告の件

(2) 第 2 号議案 平成 26 年度事業計画及び予算計画の件

(3) 第 3 号議案 役員（理事・監事）の選任の件

7. 閉会

第1号議案 平成25年度事業報告及び決算報告の件

I. 平成25年度事業報告

(概況)

皆様のご支援、ご協力のもと、社会に貢献できる学会に発展させるべく、平成25年度も精力的に活動を行いました。

以下に活動状況の詳細をご報告いたします。

【参考：定款で定められている学会の目的は以下の通りです】

「この法人は、広く一般市民に“石油ピーク”を啓蒙し、石油を大切に使う方策を検討し、その知識、知恵を広く一般に広げることによって、心豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。」

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

以下のように、シンポジウムを5回実施した。

1-1) シンポジウム「低エネルギー社会に向けて」

日時：2013年6月6日(木) 14:30 -17:00

場所：東京大学本郷キャンパス山上会館

講演：

「人は自然の恵みで生かされている」

石井吉徳 もったいない学会 会長

「地域交流紙が導く地域の未来」

辻村琴美 もったいない学会 評議員

1-2) シンポジウム「スマートアグリ」を議論する

日時：2013年7月19日(金) 14時—17時

場所：清泉女子大学 本館 大会議室

講演：

農作業事故調査からみた日本農業の現状

浅沼信治 日本農村医学研究所客員研究員

1-3) シンポジウム「非在来型石油・天然ガスの本当の姿」

主催：

NPO 法人石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

公益社団法人日本工学アカデミー次世代へのメッセージフォーラム

日時：2013年10月1日(火) 13:30 -17:00

場所：東京大学本郷キャンパス山上会館

講演：

「シンポジウムの趣旨と理念について」

石井吉徳 もったいない学会会長

「非在来型化石燃料の将来性」

松岡俊文 京都大学教授

「非在来型石油・天然ガスの現場」

梶岡雅俊 国際石油開発帝石株式会社代表取締役副会長

1-4) 地域が主役「自然との共生社会をめざす」盛岡シンポジウム～身近から作るエネルギーの時代～

主催：

NPO 法人 もったいない学会

環境エネルギー普及(株)

後援：

盛岡信用金庫、サステナジー株式会社

紫波グリーンエネルギー株式会社、

放送大学岩手学習センター

日時：2014. 2月1日[土] 13:00～16:45 (12:30開場)

場所：岩手県民会館 中ホール(盛岡市内丸13番1号/JR盛岡駅よりバス15分)

講演：

「東北が主役のエネルギー戦略」

階 猛氏 衆議院議員

「東京一極集中から地域分散、自然と共存の日本列島文明」

石井 吉徳氏 もったいない学会会長/東京大学名誉教授

「地域で作るエネルギーの実践と事例」

山口 勝洋氏 環境エネルギー普及(株)/サステナジー(株)代表取締役

1-5) シンポジウム「東京を低エネルギー都市にするにはどうするか」

主催：

NPO 法人石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

公益社団法人日本工学アカデミー次世代へのメッセージフォーラム

後援：

NPO 法人地中熱利用促進協会 日本ヒートアイランド学会 NPO 法人自転車活用推進研究会 公益

財団法人深田地質研究所 ㈱平凡社 日本地熱学会 一般社団法人 e 世論協会 (予定)

日時：2014年3月25日(火) 13:30 -17:00

場所：東京大学本郷キャンパス工学部2号館1階212号講義室

講演：

「自然科学者からの論点整理、東京一極集中の文明的課題とエネルギーシフト」

石井吉徳 もったいない学会会長

「ヨーロッパの都市はアメリカの都市とは違う」

大久保泰邦 もったいない学会副会長 日本工学アカデミープロジェクトリーダー

「ヒートアイランド現象とその対策技術の紹介」

梅干野晃 元日本ヒートアイランド学会会長 放送大学

「東京で自転車を乗りやすくするにはどうすれば良いか」

小林成基 NPO 法人自転車活用推進研究会理事長

「都心での地中熱利用」

笹田政克 NPO 法人地中熱利用促進協会理事長

2) サロンの開催

以下のように、1回のサロンを実施した。

第1回サロン

【日時】2014年1月21日(火) 15:40-17:00

【会場】東京大学山上会館地階001会議室

【講演】

「シェールガス革命」から学んだこと

大久保泰邦 もったいない学会副会長

「成長の限界」を再び問う

石川宏

3) 自然との共生社会フォーラムの開催

以下のように、2回のフォーラムを実施した。

3-1)

第一回自然との共生社会フォーラム

【日時】2013年11月23日 13時30分~16時50分

【会場】東京大学山上会館地階001会議室

【講演】

「差し迫る石油文明と日本の危機、自然と共生する地域分散社会は可能か」

もったいない学会会長 石井吉徳

エネルギーと食糧の地域自給で地域自立をどう進めるか」(事例) 足尾プロジェクトの現状と目的達成の課題

もったいない学会理事 鈴木秀顕

3-2)

第二回自然との共生社会フォーラム

【日時】 2013 年 11 月 23 日 13 時 30 分～16 時 50 分

【会場】 東京大学山上会館大会議室

【講演】

「原発に依存しないエネルギー政策を創る」

東京工業大学名誉教授・バイオサイクル研究所：資源化学 久保田 宏

「石油に依存しない低エネルギー社会のかたち」

もったいない学会副会長 田村 八洲夫

4) その他の啓蒙活動として、コラムサイト（シフトム）を通じた情報発信、シンポジウム・サロン講演資料の会員限定公開を実施した。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

・ 4 回開催。

(平成 25 年 6 月 6 日、10 月 1 日、平成 26 年 1 月 21 日、3 月 28 日)

・ 適宜メール審議

※理事会議事録（メール審議含む）は学会 HP で公開しております。

2) 総会

通常総会を 1 回開催した（平成 25 年 6 月 6 日）。

3. 会員の状況

会員の現況(平成 26 年 3 月 31 日現在)

※カッコ書きは前年度

正会員：137 名（145 名）

一般会員：122 名（143 名）

学生会員：3 名（4 名）

賛助会員：5 名（6 名）

計：267 名（298 名）

II. 平成 25 年度決算報告

下記資料を参照下さい。

・ 収支計算書（案）

・ 貸借対照表（案）

・ 財産目録（案）

・ 監査報告書

25 年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

(単位：円)

科 目	金	額
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入 (入会金含む)		
会費収入	786,000	
2 事業収入		
(1) 教育・啓発事業収入	1740	
(2) その他事業収入		
3 補助金等収入		
地方公共団体補助金収入		
民間助成金収入		
4 寄付金収入		
5 その他収入		
利息収入	191	
任意団体からの繰入金		
6 その他の事業会計からの繰入		
経常収入合計		787,931
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1) 情報提供事業費	165,973	
(2) 教育・啓発事業	295,570	
事業費小計		461,543
2 管理費		
役員報酬	0	
給与手当	0	
振込手数料	5,880	
消耗品費	0	
事務委託料(事務局での通信・印刷費含)	207,034	
租税公課	0	
管理費小計		212,914
経常支出合計		674,457
経常収支差額		113,474
III その他資金収入の部		
1 固定資産売却収入		
その他の資金収入合計		
IV その他資金支出の部		
1 固定資産取得支出		
その他の資金支出合計		
当期収支差額		113,474
前期繰越収支差額		1,217,361
次期繰越収支差額		1,330,835
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
1 資産増加額		113,474
当期収支差額(再掲)		113,474
2 負債減少額		51,260
増加額合計		0
		164,734
VI 正味財産減少の部		
1 資産減少額		0
当期収支差額(再掲)(マイナスの場合)		0
2 負債増加額		1,321
減少額合計		1,321
当期正味財産増加額(又は減少額)		163,413
前期繰越正味財産額		1,166,101
当期正味財産合計		1,329,514

平成 25 年度

会計貸借対照表

平成26年 3月31日現在

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,330,835		
未収入金			
.....			
流動資産合計		1,330,835	
2 固定資産			
土地			
建物			
車両運搬具			
.....			
固定資産合計		0	
資産合計			1,330,835
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
未払金	1,321		
.....			
流動負債合計		1,321	
2 固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金			
.....			
固定負債合計		0	
負債合計			1,321
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	1,166,101		
当期正味財産増減額	163,413		
正味財産合計		1,329,514	
負債及び正味財産合計			1,329,514

平成25年度

会計財産目録

平成26年 3月31日現在

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金			
普通預金	1,330,835		
未収入金			
未収会費			
.....	1,330,835		
流動資産合計			
2 固定資産			
土地			
建物			
車両運搬具			
.....			
固定資産合計		0	
資産合計			1,330,835
II 負債の部			
1 流動負債			
未払い金			
預り金			
短期借入金	1,321		
流動負債合計		1,321	
2 固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金			
.....			
固定負債合計		0	
負債合計			1,321
正味財産			1,329,514

監査報告書

私は、定款に基づき、平成 25 年度の事業報告書、収支決算書の監査をした結果、いずれも適正かつ正確に執行されていたことを認めます。

2014 年 6 月 5 日

もったいない学会

監事 佐藤 裕久

佐藤 裕久 印

(自書)

第 2 号議案 平成 26 年度事業計画及び予算計画の件

平成 26 年度事業計画（案）

【方針】石油ピークが早晚、石油減耗に至る転換期にあるとの時代認識を共有し、学会の基本方針を強化し、啓蒙のため、また自然と共生する低エネルギー社会などの理念の実現のために、社会への発信力の強化や個別活動と並行して、さらなる理論面及び実践面でのノウハウを蓄積しながら、体系的な纏め・提言を行い、志を共有する具体的な活動組織との連携強化を進め、平和的な文明転換の国民的な活動強化に貢献する。

1. 学会事業活動

1) 学会 WEB の発信力向上

調和性・戦略性を十分吟味することにより情報発信力の向上につとめ、信頼・支持される学会 WEB を構築する。学会 WEB、コラムサーバ等におけるコンテンツ内容・構成の工夫に努める。26 年度の具体的取組として、

- ・ホームページの構造と内容の改善および運用方法改善による学会の基本的情報活動強化
- ・学会コラム誌 Shiftm の機能改善、および学会役員、会員の投稿の強化。学会役員の目標投稿数の設定。
- ・SNS（Facebook, Twitter 等）への学会役員、会員の参画の拡充

2) シンポジウムの開催

平成 26 年度中にシンポジウムを 2 回以上程度開催する。東京一極集中から地方分散の考えを踏まえ、その際地域での普及も重視した地方開催も予定する。を行う。

3) サロンの開催

平成 26 年度中にサロンを 6 回程度開催する。

4) 学術及び活動報告大会の開催

会員の活動発表の場として、平成 26 年度中に 1 回程度開催する。内容案は別途検討する。（必要があれば大会実行員会を編成する）

5) 出版事業

- ・WEB 会誌発行
「もったいない学会 WEB 学会誌」の編集・公開業務を行う。特集号を企画する等して論理深度を深める。
- ・啓蒙・教育を目的とした新規刊行物の作成・出版・販売として電子出版事業を、英語版電子ブック国際的な発行を含めて計画する。

5) 部会、WG、研究会活動

(a) エネルギーの科学研究会

エネルギー開発の課題に関して、エネルギー収支比の視点から議論し、成果をホームページに掲載して啓発活動を行う。

(b) 低エネルギー社会 WG

日本工学アカデミーや中小企業家同友会全国協議会などと連携して、注目を集めているエネルギーに関して専門家を招き、低エネルギー社会づくりに関する勉強会を開催する。

(c) 自然との共生フォーラム

自然と共生の低エネルギー社会への構造転換ためのフォーラムを開催し、日本独自のより質の高い共生の在り方を検討する。

6) 表彰など

顕著な事業を行っている活動者・団体を顕彰する。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

平成 26 年度中に 6 回程度開催する。

・学会の活動の執行機関として、理事の役割分担と協同の体勢の向上を図り、会員と社会の真の進歩に貢献する。

2) 総会

通常総会を 1 回開催し、必要に応じて臨時総会を開催する。

【補足資料】

第1回学術・事例報告大会の開催について

趣旨：

NPO法人もったいない学会「石油ピークを啓蒙し、脱浪費社会を目指すもったいない学会」は、設立8年目を迎え、石油ピーク後のエネルギー危機及び文明危機に対し、科学的な認識と叡智によって、新たな転換の実現と未来戦略確立の使命はますます重要になっています。そこで、学会はこれまでの啓蒙や提言活動強化に加えて、学術研究論文及び事例報告等の発表と相互交流のための大会を開催いたします。

内容：

学会員を中心に、

①石油ピークの実態、新たなエネルギーの在り方、文明危機の構造分析等の学術研究論文②脱浪費による新しい低エネルギー社会や自然共生社会の事例報告等を公募し、発表と討議の大会とします。

要領：

- ①6月HPに公募告知をする。論文または事例のテーマ名、発表者、概要（20行内）等を応募する。
- ②7月テーマの調整及びプログラムの編成後、論文及び報告形式（A4 4枚内）で、提出要領を伝える
- ③8月末論文及び報告形式（A4 4枚内）で、提出する。この原稿をCD-ROM化する。
- ④大会では、各自15分発表5分質疑で行う（パワーポイント）

大会日程：

2014年12月6日（土曜日）10時から15時まで発表、15時から講演と全体討議、提言。その後18時以降交流懇親会を行う。
場所は東大本郷を予定する。

体制：

本大会の実行委員会を学会員主体で構成し、推進する。
*会員で実行委員会への協力可能な方は是非お願いしたい。

費用：

学会会費及び当日参加会費で行う。

以上

平成 26 年度事業予算計画（案）

平成 26 年度 予算（案）		（単位：円）	
収入の部		支出の部	
項目	予算	項目	予算
会費収入	700,000	事業費	1,300,000
正・一般・学生会員	605,000	シンポ・サロン・講演会開催費	100,000
賛助会員	80,000	WEB サーバレンタル費	150,000
正会員入会金	15,000	新規刊行物作成費	100,000
		ホームページ改良費	200,000
事業収入	200,000	シフトム改良費	300,000
学術・事例報告大会参加登録費	200,000	学術・事例報告大会開催費	450,000
		管理費	300,000
		事務作業委託費(印刷・通信費含)	275,000
		振込手数料	10,000
		消耗品費	10,000
		租税公課	5,000
小計	900,000	小計	1,600,000
昨年度からの繰越金	1,329,514	予備費	629,514
収入合計	2,229,514	支出合計	2,229,514

第3号議案 役員（理事・監事）の選任の件

定款第3章第16条により、「役員（理事・監事）の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。」とあります。

（任期等）

第16条 役員（理事・監事）の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

以下の理事12名および監事2名の候補者をそれぞれ理事・監事に再任していただきたくお願いいたします。また、あらたに理事2名の新任させていただきたくお願いいたします。なお、役員（理事・監事）の任期は次期役員が選任されるまでの2年間となります。

【留任】

理事

石井 吉徳（留任）

安藤 満（留任）

大久保 泰邦（留任）

林 農（留任）

福田 正巳（留任）

旭岡 叡峻（留任）

田村 八洲夫（留任）

早坂 房次（留任）

山本 達也（留任）

鈴木 秀顕（留任）

辻村 琴美（留任）

松島 潤（留任）

以上12名

※ なお、早坂 房次（平成23年5月17日新任）、辻村 琴美（平成25年4月1日新任）、鈴木 秀顕（平成25年4月1日新任）につきましては、任期を残しておりますが、法務局のご提案もあり、任期途中にて退任させ再任し、すべての理事の任期期間を揃えることとしたいと思います。

監事：

佐藤 裕久（留任）

【任期満了・退任】

芦田 讓（理事・任期満了・退任）

小川 克郎（理事・任期満了・退任）

加藤 文子（理事・任期満了・退任）

【新任】

学会の地方展開を活発化するため、次の1名の方を新たに理事に選任したいと思っておりますので、ご検討よろしくお願いいたします。

(1) 五十嵐敏郎（いがらし トシオ）氏

現在は、金沢大学、京都大学にて「新しい交通システム」や「新しい都市構造」の観点から、脱成長や脱GDP論について考究している。